

「補助金開発製品の消費者向けPR及びモニタリングによる販路開拓支援」に 伴う調査の当選者が決定

エネ研では、福井県の多様な地域産業育成に向けて、各種補助金による新たな製品・技術の開発、販路の開拓を支援しています。今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、展示会などを通じた製品紹介が困難になりました。このため、「製品のPR」と併せて、お客さまの意見や評価・改善点を企業へフィードバックする「モニタリング調査」を実施し、さらなる新技術・新製品の開発、販売チャネルの多様化につなげてもらうこととしました。

今回の調査では、福井県内在住の方を対象に、4つのコース（①新技術伝統工芸品セット、②福井の魅力再発見セット、③植物工場レタス活用セット、④みんな巣ごもりエコセット：写真下）を用意し、製品使用後のアンケートへの回答を条件に、8月28日から9月11日まで募集しました。多数のご応募をいただき、製品の魅力を改めて知る機会となりました。

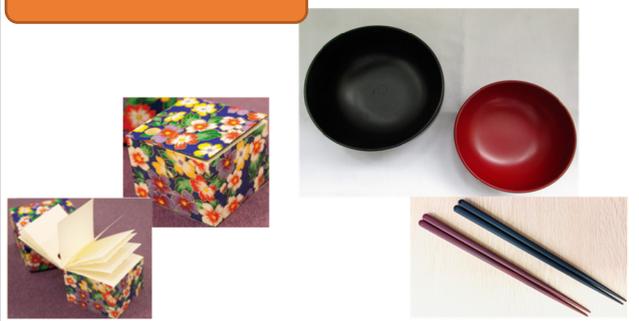
応募者の中から厳正なる抽選を行い、当選者には電子メールやファックスで連絡し、9月22日にエネ研にて「ドライブスルー方式」で各コースの当選製品をお渡ししました（写真右）。

来場者からは、「敦賀市に住んでいるが、福井の梅が好物なので少しでも売上に貢献したい。」「子供には地元で就職してほしい。今後の成長が期待できる地元企業に関心があります。」など、企業にも励みになる声を多数いただきました。



現在集約中のアンケート結果は、「お客さまの声」として企業に伝える一方、ウィズ/アフターの新型コロナ時代においても通用する、新たな技術・製品の開発や販路開拓につながるように、エネ研も活用し、嶺南地域をはじめとする地域の産業育成に向けて支援を行ってまいります。

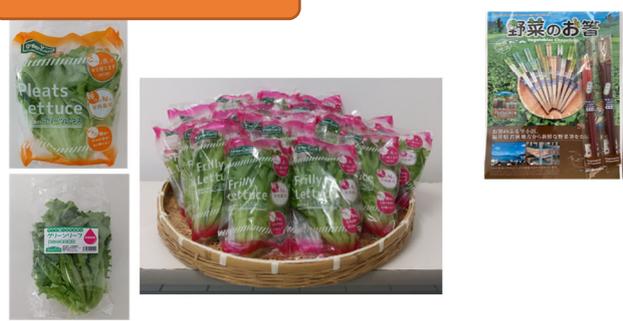
①新技術伝統工芸品セット



②福井の魅力再発見セット



③植物工場レタス活用セット



④みんな巣ごもりエコセット



第22回 エネ研研究報告会をホームページ上で開催します

エネ研では、開所以来、原子力やエネルギー関連の科学技術の活用に関する調査、研究開発等を通して、科学技術の地域産業への普及と地域の活性化に取り組んでおり、これらの活動を広くご理解頂くために研究報告会を開催しています。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、エネ研ホームページ上で開催します。
=> エネ研ホームページ (<http://www.werc.or.jp/>)

この研究報告会では、特別講演として、福井大学 産学官連携本部 特命准教授の青柳 賢英先生の「福井大学における超小型衛星の開発」を掲載します。

加えて、エネ研で取り組んでいる宇宙・医療・育種・レーザー・材料技術といった研究や実用化への取組み、科学機器や分析事例などを掲載します。

10月末にホームページへの掲載を予定しておりますので、是非ご覧ください。

科学機器を使いませんか？

エネ研には50種類以上の高度な科学機器が設置されており、低料金でご利用いただけます。

また、操作方法の相談やサポートも行っています。

これらの科学機器を活用し、研究開発・品質管理における様々な技術的課題、トラブル等の解決にお役立てください。

【主な科学機器】



SEM

(走査型電子顕微鏡装置)



ICP-MS

(誘導結合高周波プラズマ質量分析装置)

【お問い合わせ】

企画支援広報部

TEL:0770-24-7273 E-mail:kikakushien@werc.or.jp

技術相談の例

【分析】

- ・めっき膜異物分析
- ・セラミック部品品質検査
- ・モーター部品異臭調査
- ・電子部品の異物分析
- ・IC 電極表面不具合調査
- ・繊維への金属含浸評価
- ・ゴムの表面調査

【科学処理】

- ・高分子有機化合物の紫外線・オゾン分解処理

【材料改質】

- ・水素電池電極用チタンの表面改質
- ・マグネシウムの表面改質

【研修参加者募集中】 科学機器研修の参加者を募集しています。

詳しくは、エネ研ホームページ (<http://www.werc.or.jp/training/science/>) をご覧ください。

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail:kikakushien@werc.or.jp

TEL:0770-24-7273 FAX:0770-24-7275

